



名取市図書館友の会 2024.3.26 第20号

なとと通信



「なとと」
Facebook
QRコード

事務局 nt.natoto@gmail.com



布絵本「はなもも」



増田祐子

みなさん、こんにちは。名取市図書館ボランティア布絵本「はなもも」をご存じですか。東日本大震災の後、図書館ボランティアの手芸班という立場で出発しました。当時の図書館司書柴崎悦子さんの発案によります。震災の時に色々と支援を受けた石狩図書館との交流を深めながら、布絵本の作成に磨きをかけました。

初めは「ふきのとう文庫」さんよりキットを購入して作成していましたが、宮城県出身のとよたかずひこ先生の許可を得て先生の作品をコピーする事から始め、試行錯誤を繰り返し、先生に原作を超えていると言って頂ける程の布絵本を作れるようになりました。平成29年よりサークル活動となり、布おもちゃやタペストリー等も作成しています。みなさん!一緒に作ってみませんか、お待ちしております。



初笑い としょかん寄席



今年最初のイベント『としょかん寄席』を1月21日(日)、増田公民館講義室で開催しました。『としょかん寄席』は例年、ナイトライブラリーで行っていましたが、今回は昼間の開催でした。『としょかん寄席』ではお馴染みの剋家清生(こっかせいしょう)さんの演目は、相撲噺の『半分垢』と酒が飲みたい熊五郎からとばっちりを食べた猫の噺『猫の災難』の二席。また今回は、東北学院大学落研1年生の渡来庵杜来(どらいあんどらい)さんも来られ、『高砂や』を演じてくれました。

悪天候でしたが、ご来場の皆さんには、お笑いで楽しいひと時を過ごしていただきました。やはり生の演技は臨場感があって素晴らしいです。またの開催が楽しみです。



★ ★ ★ 12月～2月のナイトライブラリー ★ ★ ★

12/22 「クリスマスコンサート」

華麗なドレス姿の演奏家（声楽2人、ピアノ、ヴィオラ）の登場に、会場はすっかりコンサートホールに。ゲストのエスポワール・フォレの皆さんは、震災後宮城学院女子大学音楽科卒業生で結成された演奏団体です。代表小斎さんの出身地である閉上・名取に想いを寄せ、復興支援を中心に幅広く演奏活動をされています。



椿姫の「乾杯の歌」を幕開けに、軽やかなトークにのせてミュージカル、シネマ、ジャズの楽曲、ディズニー、ジブリ、クリスマスメドレーと演奏が続きまして。57人の観客と一体となり再び盛り上がったアンコール「すてきなホリデイ」まで、全20曲の演奏をたっぷり楽しみました。

心がいっぱいに満たされた、それはそれはステキなクリスマスコンサートでした。

1/26 「古墳時代の名取 ～雷神山古墳の謎～」



皆さんは、古墳は「お墓」だをご存じですよ。では、お墓の世界一は？ 高さではエジプトのクフ王のピラミッド。体積では、中国の始皇帝のお墓。長さでは、日本の大山古墳だいせん（仁徳天皇陵）。クイズで始まった今夜のゲストは太田昭夫さん（名取市史編さん室 調査員）です。

雷神山古墳は、東北最大の古墳であること。古墳の5種類の形、全てが名取市にあること。太田さんの説明が分かり易く、はるか昔の事なのに情景が目の前に広がります。古墳時代の歴史・時代背景や卑弥呼、倭（日本）の国の成立など遠いロマンに想いをはせた一夜となりました。そして、この続きも是非お願いしたいと感じました。

2/29 「大人のためのおはなし会」

今年に入って雪を見た日はどのくらいあったでしょう。閏日（うるうび）のこの日、読み語り塾「やまがっこう」を主宰し、世代を越えて多方面に朗読・読み語りの活動をしている鶴飼信好さんによるおはなし会が行われました。



始めに音読の時の脳についての講話、そして「～ようこそおはなしの世界へ～」と進みます。『エゾオオカミ物語』の後は、アイヌの人々が聞き取った擬音語の言葉遊びがユニークな絵本『カニツンツン』を楽しみ、『急行北極号』で北の極限へとおはなしは繋がって行きました。しんと静まった会場での最後は、『ゆきおんな』。真冬の白い世界が際立った昔々のおはなしで静かに幕は下りました。

第10回 (2/20) 図書館の本で楽しもう!

～色画用紙で作る北欧風オーナメント～

単色の色画用紙で作っても、折ったり、きざみを入れたり広げたりしてできたオーナメントに光が当たるとあら不思議。紙の色が微妙に変化してとてもきれい! 造形美がつくり出す何とも言えない感動を味わったひと時でした。

残りの時間で、もう一つ。折り紙で作ったおしゃれな6面体の小箱。大好評で、「次も予約する」との声も。

次は何を作りましょう?



今回の参考図書



「大人のための折り紙アレンジBOOK」
Sweet Paper: 著
マイナビ: 出版

2/26 おはなしボランティア研修会

現在、『なとと』では4つのおはなしボランティアグループが活動しています。2月26日、主におはなしボランティアグループを対象とした研修会が図書館の主催で開催されました。講師は、仙台市内で『大ちゃん文庫』を主宰されている佐々木博美さん。テーマは「わらべうたと手あそび」です。うたに合わせて上下左右に動く手の心地よいリズムに皆魅了され、童心に帰ったような時間でした。最後に佐々木さんが話した「今日の私は幸せですか?と自分自身に問いかけているの」という言葉が、とても印象的でした。



3/20 子ども読書活動推進講演会 絵本作家・画家 いせひでこさん講演会

「絵本を描く、いのちを描く」

3月20日春分の日、「いせひでこさん講演会」に協力し、会場設営や受付・案内、接待などのお手伝いをしました。多くの方が来場され、満杯の会場の中には幼いお子さんの姿も見られました。

実感を大切に描かれるいせさんは、何度も取材を重ね、実際に触れ、体験したことを自分に刻み、納得いくまで描き続けるそうです。1冊の絵本が完成するまでには何年もかかるとのこと。いせさんの絵本に

心揺さぶられる理由がわかったような気がし、手元にある絵本がとても愛おしくなりました。また、いのちに真摯に向き合ういせさんの姿が感動的で、一人一人の心に大きなプレゼントをもらった「特別な1日」になりました。



♪わたしからあなたへ♪

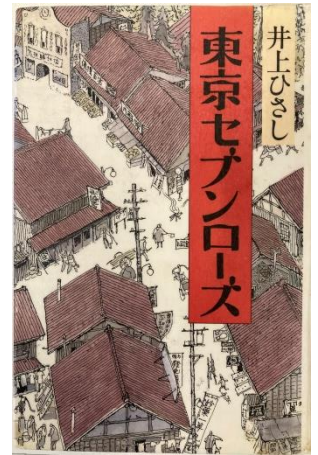
本のバトン No.15

「東京セブンローズ」を読んで

榊井 陽子

この本は、戦時下の新聞等膨大な資料に基づき執筆されたようです。開くと、戦時下の東京で空襲が激しさを増し、やがて終戦を迎える中、戦火をかいくぐりながら人々が日常生活を送る様子がリアルに描かれています。時に、家族や知人がむごい死に方をする場面も。その中でも、人々は必死に生き抜いていくのです。

今もウクライナやイスラエルなど世界中に紛争が絶えません。私もそうですが、戦争を知らない世代の方々に読んでほしい一冊です。戦争がいかにもむごいものか。その中での日常の営みがいかに貴重なものか。ただでさえ、気候変動の影響やその他による多くの災害が絶えない時代、人が人を殺し、建物を壊す行為はもうやめてほしいと願うばかりです。



「東京セブンローズ」
井上ひさし：著
文藝春秋：出版

これからのナイトライブラリー

- ★ 3/29 朗読劇「高齢者の記憶から生まれた物語」
名取リーディングクラブの皆さん
- ★ 4/26 「知って楽しい！イタリアの食文化」
佐藤範佳さん(イタリア語講師)
- ★ 5/31 「60歳、アメリカのロング・ディスタンス・トレイルを歩く
~Pacific Crest Trail」 板谷 学さん(名取トレイルセンター センター長)



日時：毎月最終金曜日 19:30~20:30 会場：カフェコーナー 定員：40名
参加費：会員無料 非会員 300円 申込み：図書館へ

♡♡ ごあんない ♡♡

- ★ としょかんこどもまつり
日時 4月27日(土) 10:00~14:00
詳細は、「広報なとり」ポスター、チラシ等をご覧ください。
- ★ 第11回 図書館の本で楽しもう！ 詳細調整中
日時 5月14日(火) 13:30~15:30

第7回なとと定期総会

日時 5月26日(日) 10:00~
会場 増田公民館 講義室



皆様のご参加お待ちしております。

でんごんぼん 「としょかんこどもまつり」では、恒例のおはなし会、工作、布絵本等の展示の他に、お手玉づくりもやりますよ！おもしろい遊びができるかも。